フォトニュース
Photo News

出生記念植樹プレートを募集

市で出生した子どもの名前を刻印したプレートを打上川治水緑地に植樹する桜の木に設置するため、プレートへの名前刻印希望者を募集しています。

応募した市在住の大畑夏歩さんは、「次男の誕生記念になればと応募し、子どもが大きくなって一緒に花見ができれば」と話しました。

※出生記念植樹プレートについては、市民課に問い合わせてください。

ジョーキーボール ワールドカップ出場

５月10日、市出身の松岡康暢さんが市役所を訪れ、６月にイタリア・ローマで行われるジョーキーボールワールドカップに日本代表として出場することを北川市長に報告しました。

ジョーキーボールは「フィットネス・サッカー」とも呼ばれ、「楽しむ＆健康」をテーマに、子どもからお年寄りまで、男女問わず誰でも楽しめるスポーツです。

松岡さんは「世界で結果を残せば、競技の知名度向上にもつながると思うので、世界一を目指したい」と語りました。

つつじ満開

～市の風物詩～

寝屋川市駅近くの寝屋川沿いに、つつじが今年もきれいに咲きました。

品種は平戸つつじで、北は極楽橋から南は神田橋まで、約２キロメートルの両岸（約9,000平方メートル）に、約３万2,000本が川を彩っていました。

小学生が 摂南大学で 地域学習

５月２日、市立石津小学校の３年生62人が、摂南大学で「わたしたちの町のようすを知ろう」をテーマに、地域学習を行いました。

この学習は、摂南大学の先生や学生の協力を得て、同校寝屋川キャンパスの最上階から小学生が自分たちが暮らす街の様子を観察して作文を書く授業で、毎年行われています。

雲一つない晴天の下、子どもたちは、めったに見ることができない11階からの景色に「小学校が見える！」など、大喜びしていました。

ふるさとねやがわ

「寝屋川が一番」

ガールズロックバンド　yonige

市内で結成された寝屋川の街が大好きなガールズロックバンド「yonige」の活躍に注目が集まっています。一昨年に発表された楽曲のミュージックビデオはインターネット上で250万回も再生され、この4月には3枚目のアルバムで寝屋川がタイトルになった「Neyagawa City Pop」を発表。全国ツアーやロックフェスティバルへの参加などで多忙な中、取材に応じてくれました。

いずれも22歳になる牛丸ありささん（ボーカル・ギター）＝**上の写真右**＝、ごっきんさん（ベース・コーラス）＝**写真左**＝の女性2人組。

牛丸さんは高校生のとき、転入してきましたが、「商店街でたこ焼き屋のじっちゃんとなじみになったり…。街の雰囲気が着飾ってないというか、気取ってない。あちこちに引っ越ししたけど寝屋川が一番自分にしっくりする」。すっかり気持ちの落ち着く街になったそうです。

ごっきんさんは、生まれてからずっと香里園駅かいわいで育ちました。「小さな頃、一人でおつかいに行くと店の人が『大丈夫？』って声を掛けてくれて優しかった。人と人との関係が密接な土地柄で、以前は雑然としたところもあったけど、そんな風景を含めてめっちゃ好き」。

市内の別々の高校で活動していた2人でしたが、2013年、それぞれのバンドが解散したのを機に「yonige」を結成しました。なかなかバンド名が決まらず、スマートフォンを当てずっぽうにタッチしてみたところ「y」「n」「g」の文字。「（ローマ字でo、i、eを補うと『よにげ』になって）『夜逃げ？』頭から離れない名前だから」と決めたそうです。

関西各地のライブハウスでの出演から、全国規模のバンドオーディションに参加するなど活動を拡大。15年夏には初のアルバムで全国デビューを果たしました。明確だけど、一筋縄で捉えられない言葉で失恋や日常をつづった「日本語ロック」に同世代の若者から広く支持を受けています。

今回のアルバムは、市内の駅、公園、商店街で撮影した写真をジャケットに採用し、タイトルどおり地元への思いのこもった曲が収録されています。中でも1曲目の「ourtime city」は牛丸さんが高校生の頃、感じていたままを歌った作品だそうです。

今後の目標について、牛丸さんは「女の子の憧れの存在でありたい」、ごっきんさんは「『上へ（のし上がる）』ではなく、『前へ』進んでいくバンドでありたい」と語りました。